

》環境目標と実績、環境負荷実態》SDGsの達成に貢献するビジネス》脱炭素社会の実現に向けて》**循環型社会の実現に向けて**》環境汚染物質の削減に向けて》自然共生社会の実現に向けて

## 環境マネジメント活動－循環型社会の実現に向けて

# 水資源の有効利用

水資源は、国や地域によってリスクの程度が異なることから、DNPでは海外拠点を含めた製造拠点における水のリスク調査を行っています。また、水害リスクの高い地域では、洪水対策を行っています。

### ● 水使用量削減

節水、ユーティリティ設備の補給水削減や循環利用の拡大により使用量削減に努めています。特に、エレクトロニクス部門など大量の水を必要とする部門では、製造工程における使用量の最適化や工程の見直し、水量メータ設置によるロス削減、さらに、洗浄水のカスケード利用拡大により、削減に努めています。

また、オフィスビルなどでは、雨水の有効利用を行っています。

### 2022年度実績

水使用量: 7,260[千m<sup>3</sup>]

水使用量売上高原単位: 5.29[m<sup>3</sup>/百万円]

### ● 水の循環利用量

製造装置の加熱・冷却、建物の空調などについては、水を放流せず繰り返し使用するクローズド循環システムの利用を進め、水資源保護に努めています。

取水量 (水使用量)

単位: 千m<sup>3</sup>

取水源	地域	2020年度	2021年度	2022年度
地表水 (上水・工業用水)	日本	4,340	4,010	3,680
	欧州	60	60	60
	北米	80	80	70
	その他アジア	400	230	210
	合計	4,880	4,380	4,020
地下水	日本	3,360	3,400	3,240
	欧州	1	2	1
	北米	0	0	0
	その他アジア	0	0	0
	合計	3,360	3,400	3,240
河川水	日本	0	0	0
	欧州	0	0	0
	北米	0	0	0
	その他アジア	0	0	0
	合計	0	0	0
海水	日本	0	0	0
	欧州	0	0	0
	北米	0	0	0
	その他アジア	0	0	0
	合計	0	0	0
<b>総量</b>		<b>8,240</b>	<b>7,780</b>	<b>7,260</b>

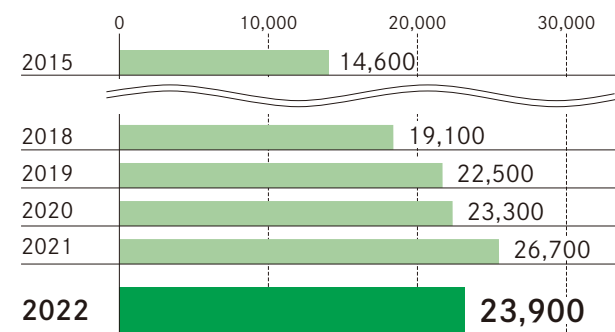
排水量

単位: 千m<sup>3</sup>

排水先	地域	2020年度	2021年度	2022年度
公共水域	日本	2,900	2,690	2,440
	欧州	0	0	0
	北米	0	0	0
	その他アジア	70	50	50
	合計	2,970	2,740	2,490
下水道	日本	2,870	3,050	2,910
	欧州	60	60	60
	北米	80	80	70
	その他アジア	330	180	160
	合計	3,340	3,370	3,200
地下浸透	日本	0	0	0
	欧州	0	0	0
	北米	0	0	0
	その他アジア	0	0	0
	合計	0	0	0
<b>総量</b>		<b>6,300</b>	<b>6,110</b>	<b>5,690</b>

※ 海洋への排水はありません。四捨五入により一部合計が合わないことがあります。

国内オフィスビルなどの雨水利用量の推移 (単位: m<sup>3</sup>)

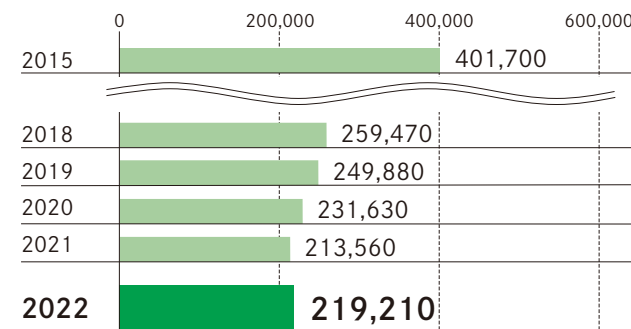


国内拠点の水のインプット・アウトプット量



※ 製品に消費しているのは、北海道コカ・コーラボトリングとDNPファインケミカルです。

国内拠点の工場用水の循環利用量の推移 (単位: 千m<sup>3</sup>)



**循環利用量** クローズド循環システム内の熱交換器や洗浄装置を通過する1年間の水の流量を集計したもの。